

実施報告

留萌市立潮静小学校

* 学級数 7 * 児童数 80

支援員勤務学校名	職名	氏名	専門分野
北海道留萌高等学校	教諭	源 和 也	物理

【本事業のねらい】

小学校第5学年「電流が生み出す力」の単元において、「電磁石を利用したものについて話し合い、身の回りのものを使って工夫したものの作りをすること」をねらいに、児童が具体的な体験を通して理解するために、教員の指導力の向上を目的に実施した。

【実施内容】

11月22日10:25~12:00、潮静小学校理科室において、潮静小13名、幌糠小5名の児童への公開授業形式により、5名の教員を対象として、小学校第5学年「電磁石を利用したものをつくろう」の小単元目標と学習内容、指導上の留意事項を確認した後、紙コップ、クリップ、エナメル線を用いた「クリップモーターの作成」を行った。



【本事業での主な参加者の声】（アンケート記述から一部抜粋）

- ・大変勉強になった。身近な素材を使用してのもの作りということで取り組みやすく、児童の反応も良かった。特に、公開授業を通して、実際に自分自身が授業実践を行う際の留意事項を確認することができた。
- ・クリップとエナメル線を活用し、モーターの仕組みを簡単に理解することができてとても分かりやすかった。
- ・電磁石の働きを強くするために、電流を強くすることや磁力の強い磁石を使うことなど、子どもたちはもの作りを理解することができ、今後の自身の授業実践の参考になった。
- ・高性能なものが多く開発され機能的にも複雑化されている中で、簡単な道具を使ってのもの作りは容易ではないが、子どもたちが時間を気にせず熱中していた姿を見て、実感を伴った理解と興味・関心の高まりをねらった「ものづくり」の指導の充実を図っていかなければならないことに改めて気付かされた。

【来年度以降の実施に向けて】

本校教諭へのアンケート調査及び聞き取り調査を実施し、指導することに苦手意識をもっている領域等を把握し、指導方法の改善を目指し研修したいと考えている。